

看護職の実践能力・研究能力開発プログラム

2021 年度募集要項



四天王寺大学
四天王寺大学大学院
看護学部看護実践開発研究センター

目 次

I	四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センターについて	
	1. 設置目的と趣旨	2
	2. 本センターの機能	2
	3. 本センターの3事業	2
	4. 本センターが対象とする人材	3
	5. 本センターの概念図	3
II	2021 年度 看護職の実践能力・研究能力開発プログラム	
	1. はじめに	4
	2. 目的	5
	3. コース概要	5
	4. 身につけることのできる知識・技術・能力	5
	5. 対象者	6
	6. 修了証交付・履修証明プログラム証明書交付	6
	7. 申込み	6
	8. 受講料・振込先	7
	9. 受講までの流れ	7
	10. 受講にあたっての注意事項	7
	11. 講師略歴	8
	12. 開催場所	10
III	2021 年度プログラム内容	12
IV	センター・外部連携～研究プログラム～	17
V	お知らせ	17

I 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センターについて

1. 設置目的と趣旨

超高齢社会の進展に伴い、五大疾病等（悪性腫瘍、脳血管疾患、心疾患、糖尿病、精神疾患）の慢性疾患や生活習慣病が増加しています。今年度には、コロナウイルスの感染拡大によって医療体制や国民生活も急激な変化が迫られました。人々の健康にまつわるこのような社会問題に対応するために、現在、より高度な知識を有する看護職が必要とされています。これからの看護職には、疾病を有する人々自身のセルフケア能力を高め、社会の支援体制や制度にも精通することが求められます。そして疾病を有する人々の地域生活を支援するため、看護実践のエビデンス構築や看護ケア方法論の開発も求められています。本センターは、こうした課題に対処するため、看護ケアの質の向上と医療提供体制の構築を目的とした教育を提供し、研究を実施して参ります。本センターの実践によって人々の健康維持・向上のみならず、看護職の人材育成と研究能力の向上を確実なものにしていきます。

2. 本センターの機能

- 1) 教育機能
- 2) 専門職支援機能
- 3) 研究機能

3. 本センターの3事業

本センターでは、目的ならびに果たす機能に基づき、下記3事業を行います。

1) 人材育成

(1) 看護職、高度実践看護職(Advanced Practice Nurse: APN)の実践能力開発と実践研究の支援

看護職や高度実践家としての直接ケア能力（特にセルフケア看護・PAS (PsychoAnalytic Systems Theory, PAS 理論, 小谷, 2018) セルフケアセラピー看護実践能力)を強化、慢性疾患患者の地域生活を促進し、地域および病院のチーム・組織へ介入し変化をおこすことのできるコンサルテーション能力を開発します。さらに介入型事例報告・事例研究・実践研究の能力を改善・維持するための研修プログラム、トレーニングを提供します。APN(CNS(Certified Nurse Specialist)等)のフォローアップ研修の一つでもあります。

(2) シミュレーション教育が行える人材の育成

シミュレーション(SM)教育が看護教育等様々な教育場面で導入されてきています。しかし、シミュレーション教育を実施できる教育者が少なく、その育成が求められています。ここでは本学看護学部が有するシミュレーション教育環境を有効活用し、SM教育者の育成を行います。

2) キャリアデベロップメント支援

専門学校等の卒業生や看護管理者が自信をもって大学院に就学し、キャリアパスを描けるようになるように支援を行うため、大学院受験が可能になります。

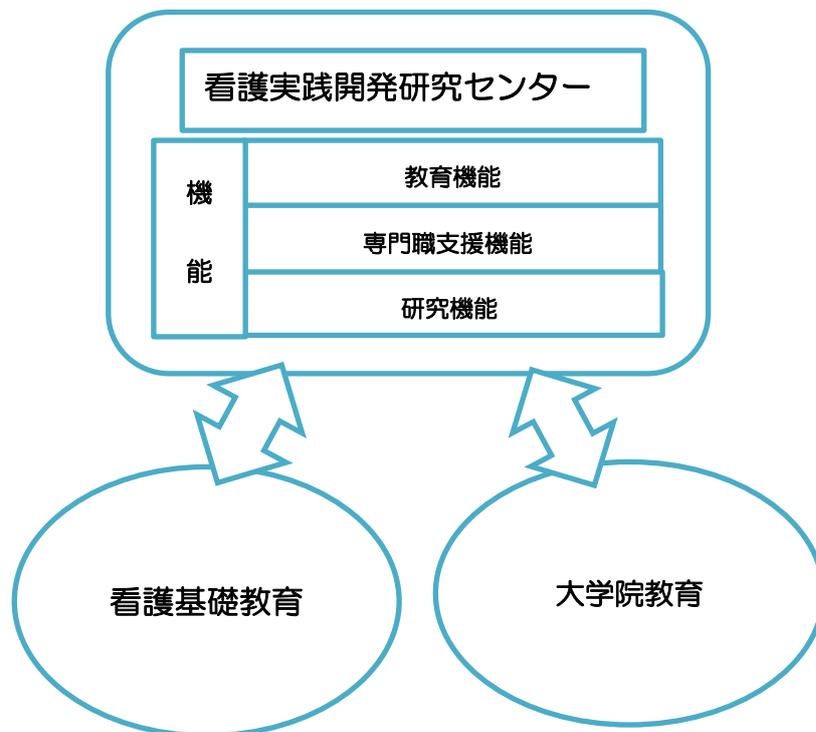
3) 研究実施と促進

国内外の大学の教員・実践者と共に共同研究を行い、高度実践看護促進のための看護介入技法の開発や災害に対する備えの促進に関する研究等を行います。

4. 本センターが対象とする人材

1. 看護職
 - ① 看護師等免許を持ち就労している人
 - ② 専門看護師(CNS)等を持ち就労している人
 - ③ 大学院生
 - ④ 大学院進学を考えている人
 - ⑤ 大学院修了後さらに実践・研究能力を開発したい人
2. 看護管理者
3. 看護教育、看護研究に携わっている看護職

5. 本センターの概念図



Ⅱ 2021年度 看護職の実践能力・研究能力開発プログラム

1. はじめに

四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センターでは、看護職（看護師、助産師、保健師）、看護管理者、高度実践看護師（Certified Nurse Specialist, CNS や Nurse Practitioner などの Advanced Practice Nurse, APN）の現任教育、大学院修了後の実践能力および研究能力育成のための人材育成トレーニングを実施しています。

看護職として中心的な行為である慢性疾患患者^{*1}への「セルフケアプログラム」は、看護職が患者の回復を早期に促し患者の地域での社会生活を成功させるために必要な治療的看護ケアです。

さらに問題行動をくり返しケアしにくくなっているケア困難患者^{*2}には「セルフケアプログラム」だけでなく、精神力動理論の PAS 理論（Psychoanalytic Systems Theory, PAS 理論、精神分析的システムズ理論）を用い、最新セルフケアプログラムを提供した後に、地域生活でさらに課題となるセルフケアに焦点をあて改善する PAS セルフケアセラピー（PAS-Self-Care Therapy, 以後 PAS-SCT）が必要です。

PAS-SCT とは、精神看護におけるこれまでのオレム・アンダーウッズのセルフケアプログラム実践を支援する技法の再体系化です。オレム・アンダーウッズモデルが依拠してきた事後性ベースの力動論に加えて、量子力学的な多元同時並行異方向的な力学的ベクトル展開をも前提とした現代的な力動論を展開している PAS 理論（小谷, 2018）による技法の再編です。「セルフケアプログラム」で人間の無意識・前意識の衝動・欲求に焦点をあて、セルフケアの意識上の意図的過程を展開できるよう支援した後、地域での社会生活で課題となるセルフケアに焦点をあて、改善を図るため PAS-SCT を実施します。PAS-SCT は直接、患者個人に関わるだけでなく、チーム、病棟スタッフ、地域、さらには事故対応等において組織の長の決断にも関与し院内外・多職種連携チームへの介入を行う組織介入技法でもあります。

センタープログラムでは、看護職・高度実践看護師の実践能力および研究能力の更なる向上を目的として、下記のようなプログラムを実施します。

- *1 慢性疾患患者：悪性腫瘍・心疾患・脳血管疾患・糖尿病・精神疾患など、病気と治療を管理し続ける必要性のある疾患を指します。
- *2 ケア困難患者：身体疾患でうつ・不安を有する患者、再燃・再発・再入院の繰り返し、重複疾患、行動化や自傷行為の繰り返し、長期入院予備軍、問題行動を繰り返す患者を指します。

四天王寺大学 看護学部 教授
看護実践開発研究センター長
宇佐美 しおり

2. 目的

本プログラムは、①慢性疾患患者のセルフケア能力の改善を目的とした直接的な看護介入に関連した知識・技法の習得、②重複疾患、問題行動を繰り返し、入退院を繰り返すケア困難患者へのPASセルフケアセラピー(PAS-SCT)介入技法の習得、③セルフケアプログラムとPAS-SCT介入を介入型事例報告・事例研究としてまとめる知識と技法の習得を目的とします。

本プログラムは、AコースからEコースの5コースと教育プログラムがあり、A・B・Eコース・教育プログラムは看護職全体向け、C・Dコースは経験3年以上の看護職、CNS、APN、CNS候補生向けとなっています。

※受講要件は定めていません。

3. コース概要

1) 直接ケア能力強化編・プライマリケア能力強化編

Aコース：欲動展開に基づく最新セルフケアプログラム

受講料：38,500円、回数：1回90分×11回、定員：10名、担当：宇佐美しおり

Bコース：在宅療養移行支援における治療的援助関係の展開～最新セルフケアプログラムを展開するための看護面接と介入技法基礎～

受講料：38,500円、回数：1回90分×11回、定員：10名、担当：宇佐美しおり

Cコース：ケア困難患者へのケース・フォーミュレーションとPAS-SCT介入技法

受講料：57,750円、回数：1回135分×11回、定員：10名、担当：小谷英文、宇佐美しおり

Dコース：患者の特徴に応じた介入型事例報告・事例研究のまとめ方

受講料：57,750円、回数：1回135分×11回、定員：10名、担当：小谷英文、宇佐美しおり

Eコース：慢性疾患患者へのフィジカルアセスメント

受講料：35,000円、回数：1回180分×5回、定員：10名、担当：松尾ミヨ子

2) 教育能力強化編

教育プログラム：看護職の現任教育・指導のための基本理念

受講料：10,500円、回数：1回180分×3回、定員：15名、担当：宇佐美しおり、大橋純子

3) 研究プログラム

センター・外部連携～研究プログラム～：受講料は別途詳細をお示しします。

※ 2021年4月～2022年3月(8月除く)の第3土曜日に開講します。(A～Dコース)

※ A～Dコースでは共通のテキスト(3,500円)を使用します。

※ A～Dコースおよび教育プログラムは、オンライン参加が可能です。

※ Eコースは、四天王寺大学看護学部羽曳野キャンパスで行います。

4. 身につけることのできる知識・技術・能力

悪性腫瘍、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、精神疾患の五大疾患等の慢性疾患の状態悪化予防に関する身体状態・精神状態のアセスメントと介入技術、特に地域生活に必要なセルフケア看護介入に関する知識と技術を身につけることができます。さらに、急変時への対応に関する知識、技術を修得し臨床現場において確かで安全な知識と技術を修得します。

五大疾患を含む慢性疾患患者の状態悪化予防を目的とし、患者のセルフケア看護介入能力が修得できます。さらに、個人のみではなく家族、治療チーム、地域ケアチームのケアを改善するための危機管理能力、コンサルテーション能力を得ることができます。

5. 対象者

1. 看護職

- ① 看護師等免許を持ち就労している人
- ② 専門看護師 (CNS) 等を持ち就労している人
- ③ 大学院生
- ④ 大学院進学を考えている人
- ⑤ 大学院修了後さらに実践・研究能力を開発したい人

2. 看護管理者

3. 看護教育、看護研究に携わっている看護職

※受講要件は定めていません。

6. 修了証交付・履修証明プログラム証明書交付

本プログラムを受講された方には、コース毎にプログラム終了後、修了証を交付いたします。ただし、プログラムへの出席が2/3未満の方へは修了証を交付いたしません。

また、各コース（教育プログラムを除く）は、履修証明プログラムであり、A～Eコースの組み合わせの時間数（60時間以上）を修了すれば、履修証明プログラム証明書が交付されます。

【履修証明プログラムとは】

社会人の大学での学び直しを支援し、学修成果をキャリア形成に生かす観点から制定された学校教育法第105条「履修証明制度」に基づいたプログラムです。単位や学位が授与されるものではありませんが、修了すると同法に基づいた「履修証明書」が交付されます。

7. 申込み

四天王寺大学ホームページ <http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/exten/>

生涯学習・地域連携 → 看護実践開発研究センター ～実施プログラム～ →
看護職の実践能力・研究能力開発プログラム → 当プログラムお申込フォーム

から必要事項を入力の上、お申し込みください。

受付開始：令和3年1月7日（木）～

※お申込後、受付通知メールが配信されます。

「@shitennoji.ac.jp」からのメールが受信できるよう、必ずドメイン指定の解除を行ってください。



8. 受講料・振込先

□受講料

1. 直接ケア能力強化編 A・B・C・Dコース
2. プライマリケア能力強化編 Eコース
3. 教育能力強化編 教育プログラム

Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	Eコース	教育プログラム
38,500円	38,500円	57,750円	57,750円	35,000円	10,500円

□振込先指定口座

銀行名	支店名	口座種別	口座番号	口座名義
三井住友銀行	大阪第一支店	当座預金	1025034	学校法人
りそな銀行	羽曳野支店	普通預金	4059676	四天王寺学園

※振り込み手数料は、各自ご負担ください。

※講座申込者ご本人のお名前で、お振込みください。

9. 受講までの流れ

時期	内容
1月7日～3月18日	インターネットにより申込を受け付けます。
3月31日までに	受講決定通知、受講料振込みに関するメールが届きます。
4月1日～4月15日	指定期日までに受講料をお支払いください。
4月17日～	プログラム受講開始です。

10. 受講にあたっての注意事項

- 受講料の返金は原則できません。
- やむを得ない事情により受講できなくなった場合は、エクステンションセンターにご連絡ください。
- 定員に達した時点で締め切らせていただきます。なお、申込人数によっては、やむを得ず講座を開講しない場合があります。
- 悪天候等により、急遽、開催日を変更することがあります。
- 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、オンラインによる講義を実施する場合があります。
- 受講料等にかかる振込手数料は、受講される方のご負担となります。

11. 講師略歴

◆小谷英文(Ph.D CGP GAP)

【最終学歴】

広島大学大学院博士(心理学)

【経歴】

- ・広島大学総合科学部助手
- ・文部省在外研究ニューヨークアデルファイ大学高等心理学研究所客員研究員 (Visiting Professor)
- ・ニューヨーク大学 Post-Graduate Medical School 集団心理療法訓練コース終了
- ・広島大学助教授
- ・国際基督教大学臨床心理学教授、教育学科長、大学院教育学研究科科長、高等臨床心理学研究所所長
- ・国際基督教大学名誉教授
- ・PAS 心理教育研究所理事長、国際力動的心理療法学会理事長(現職)

【主な活動】

- ・精神分析的な心理療法に実存心理学、システムズ理論および量子力学を加えて再構築した独自の精神分析的システムズ心理療法を体系化し、その教育、訓練、実践、研究の普及に努めている。
 - ・東日本大震災、熊本地震以降の PTSD 対策、対応の実践指導と専門家養成、技法の構成研究の展開
 - ・精神分析的システムズ心理療法の適用、応用の国際的普及、国際学会の運営、支援、中国中山大学に新設臨床心理学部博士課程教授陣の指導、PAS-SCT 学会の研修指導、訓練テキストの出版
 - ・医師、臨床心理士、看護師、そのほかトップリーダーのスーパーヴィジョン
- 著書: 応答構成 ガイダンスとカウンセリング 集団心理療法の現在 ダイナミックコーチング ニューサイコセラピー
現代心理療法入門 不測の衝撃 育つ心と育てる心 カオスと混沌 心の安全空間 Creating Safe Space through Individual and Group Psychotherapy 精神分析的システムズ心理療法 PAS セルフケアセラピー、他多数

【専門領域】

精神分析的な心理療法、集団精神療法、精神分析的組織心理学、心理療法訓練技法、スーパーヴィジョン
困難患者心理療法、青年期臨床、トラウマセラピー、エグゼクティブセラピー・コンサルテーション

◆宇佐美しおり(RN CNS Ph.D)

【最終学歴】

- ・熊本大学教育学部特別教科(看護)教員養成課程修了
- ・聖路加看護大学(現聖路加国際大学)大学院博士前期・後期課程修了(博士 看護学)
- ・精神看護専門看護師(CNS)認定

【経歴】

- ・日本 CNS 協議会元副代表・代表(2010-2018)
- ・PAS セルフケアセラピー(PAS-SCT)看護学会理事長
- ・日本看護系大学協議会 APN グランドデザイン委員
- ・日本看護研究学会・日本精神保健看護学会理事
- ・碧水会 長谷川病院 CNS
- ・兵庫県立大学看護学部講師
- ・熊本大学医療技術短期大学准教授
- ・熊本大学医学部保健学科教授
- ・熊本大学大学院保健学教育部教授、大学院生命科学研究部教授
- ・熊本大学名誉教授
- ・四天王寺大学看護学部教授、看護学部看護実践開発研究センター長(現在)

【主な活動】

オレム・アンダーウッドのセルフケアモデルをもとに精神疾患患者、身体疾患で精神的に不安定な患者、ケア困難患者への看護介入技法、セルフケアモデルをさらに発展させたPASセルフケアセラピー(PAS-SCT)看護学会を設立。ケア困難患者への看護介入技法に関する理論の開発、実践、研究を進めており、同時に CNS の役割開発、効果に関する研究、慢性疾患患者の地域生活支援・災害支援における看護職の機能・役割、うつ/PTSD 予防介入プログラム、災害後のうつ/PTSD 予防介入が実践できる災害人材育成に関する研究を行っている。

◆松尾ミヨ子(RN Ph.D)

【最終学歴】

- ・千葉大学大学院看護研究科看護学専攻修了(修士 看護学)
- ・米国イリノイ大学大学院看護学研究科博士課程修了(博士 看護学)

【経歴】

- ・鳥取大学医学部保健学科看護学専攻 教授
- ・鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻看護学分野高齢者・リハビリテーション看護学領域 教授
- ・大阪府立大学大学院看護学研究科 教授
- ・聖マリア学院大学看護学部看護学科/大学院看護学研究科教授/研究科長
- ・亀田医療大学大学院看護学研究科 教授
- ・四天王寺大学大学院看護学研究科 教授(現在)

【主な活動】

- ・看護学教育におけるフィジカルアセスメントと臨床参加型技術教育の開発をもとに授業構造、教材を作成した。
- ・看護研究におけるシステマティックレビュー、メタアナリシスによるエビデンスを研究テーマに関連する知識体系に位置づける取組を行った。マクマスター大学の EBP 法に基づく授業構造としている。
- ・さらにスキルラボ実践レベルを高めるため、フィジカルアセスメント技術を OSCE により評価する構造を作っている。

◆大橋純子(RN Ph.D)

【最終学歴】

- ・京都大学医療技術短期大学部看護学科卒業
- ・京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻看護科学コース予防看護学分野博士前期課程修了
- ・京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻看護科学コース予防看護学分野博士後期課程修了
(博士 人間健康科学)

【経歴】

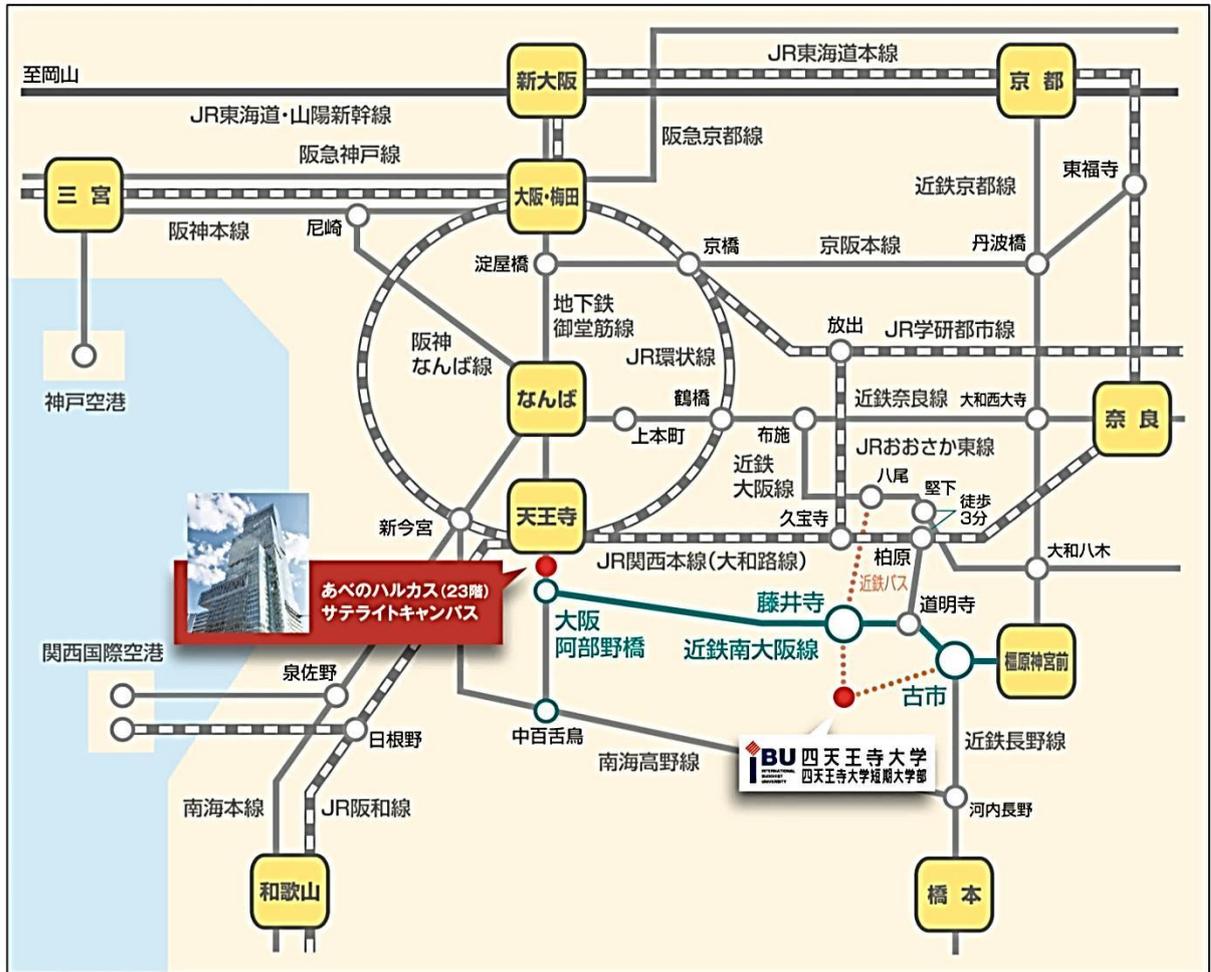
- ・大阪市役所 保健師
- ・京都府立医科大学看護学部准教授
- ・京都府立医科大学大学院保健看護学研究科准教授
- ・四天王寺大学看護学部教授(現在)

【主な活動】

プロフェッショナルウエルネスコーチとして、企業の人材育成や病院における現任教育に必要な教育指導スキルの普及と指導者育成、および行政と連携し、保健師経験を活かした特定健診・保健指導実践者の育成に努める。また、開発した潜在能力を引き出し、主観的 QOL を高めるコーチングプログラムの地域での活用に向けた地域ボランティアの教育に取り組む。

12. 開催場所

【A～Dコース・教育プログラム】 四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス



〒545-6023

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43

あべのハルカス 23階

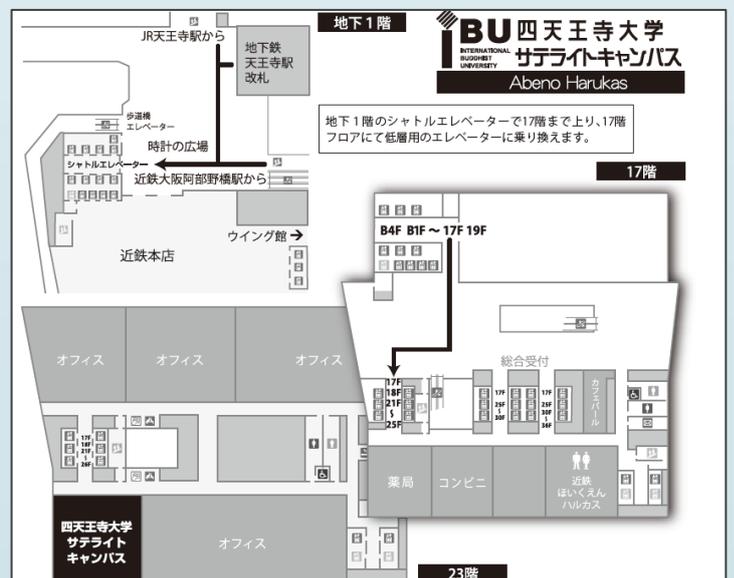
TEL: 06-6624-9200

FAX: 06-6624-9201

<最寄り駅>

- 近鉄「大阪阿部野橋」駅西改札
- JR「天王寺」駅中央改札
- Osaka Metro 御堂筋線「天王寺」駅西改札
谷町線「天王寺」駅南西/南東改札
- 阪堺上町線「天王寺駅前」駅

【あべのハルカス構内図】



【Eコース】四天王寺大学 看護棟

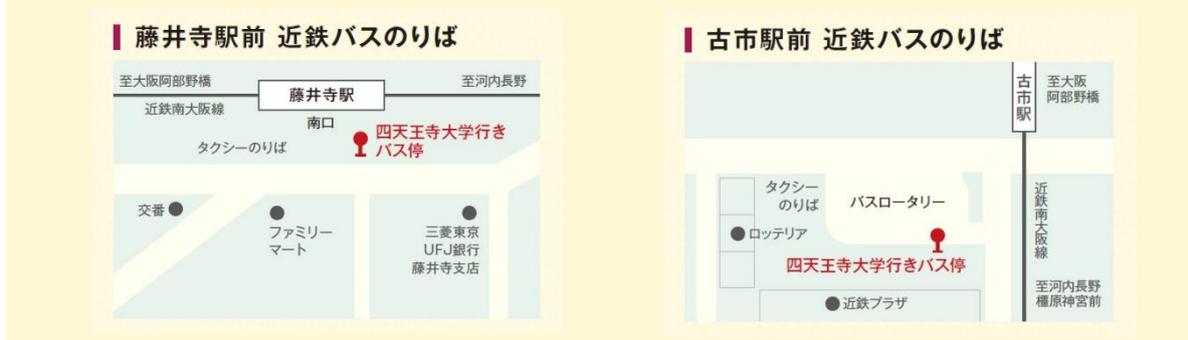
お車でのアクセス



公共交通機関でのアクセス

近鉄南大阪線「藤井寺」駅または、「古市」駅で下車。

いずれの駅からも、近鉄バスの「四天王寺大学行」にご乗車ください。(約 15 分)



〒583-8501

大阪府羽曳野市学園前 3-2-1

TEL: 072-956-3345 (エクステンションセンター)

FAX: 072-956-9960

Ⅲ 2021年度プログラム内容

1. 直接ケア能力強化編

Aコース 9:30～11:00 (90分)

欲動展開に基づく最新セルフケアプログラム

目標：慢性疾患患者（悪性腫瘍、心疾患、脳血管疾患、糖尿病など）、精神障害者への最新セルフケアプログラム、精神状態・自我・人格・力動的発達・セルフケア能力を総合アセスメントし、セルフケア上の目標とケアプランが事例を通じて展開できるようになる。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	4月17日(土)	欲動展開に基づく最新セルフケアプログラムと治療 ～無意識の衝動から欲求、欲求からセルフケアの意図的過程へ～
2	5月15日(土)	最新セルフケアプログラムにおける総合アセスメント(1) (精神状態・自我・人格・自己の機能・成長発達・セルフケアのアセスメント)
3	6月19日(土)	最新セルフケアプログラムにおける総合アセスメント(2) (精神状態・自我・人格・自己の機能・成長発達・セルフケアのアセスメント)
4	7月17日(土)	最新セルフケアプログラムにおけるケース・フォーミュレーション
5	9月11日(土)	最新セルフケアプログラムにおける目標とケアプラン～精神状態の程度に応じた関わり、セルフケア能力の程度に応じた関わり)
6	10月16日(土)	統合失調症患者への最新セルフケアプログラム
7	11月20日(土)	隔離・拘束患者への最新セルフケアプログラム
8	12月18日(土)	うつ病患者への最新セルフケアプログラム
9	2022年 1月22日(土)	パニック・不安障害患者への最新セルフケアプログラム
10	2月26日(土)	発達障害患者への最新セルフケアプログラム
11	3月19日(土)	人格障害患者への最新セルフケアプログラム

* オンラインでの参加が可能です。

Bコース 11:10～12:40 (90分)

在宅療養移行支援における治療的援助関係の展開～最新セルフケアプログラムを展開するための看護面接と介入技法基礎～

目標：慢性疾患患者、精神障害者の在宅療養移行支援における最新セルフケアプログラム、PASセルフケアセラピー（PAS-SCT）を展開するための治療的援助関係の展開方法が理解・実践できる。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	4月17日(土)	在宅療養移行支援(Transitional Self-Care Program)と最新セルフケアプログラム、PAS-SCT
2	5月15日(土)	セルフケア看護介入のポイント -PEA 紐過程と DER 技法、ノーダルポイントのとりえ方-
3	6月19日(土)	治療チーム・多職種連携チームの構築
4	7月17日(土)	治療的援助関係の準備～危機介入～
5	9月11日(土)	治療的援助関係の準備～コンサルテーション～
6	10月16日(土)	治療的援助関係の準備～傾聴と共感～
7	11月20日(土)	治療的援助関係の始め方～存在感を伝えるグラウンドメトリックス～
8	12月18日(土)	治療的援助関係の展開 ～相互作用メンタルメトリックス(情報と情緒の交換)～
9	2022年 1月22日(土)	治療的援助関係の展開～メンタライジング(理解を伝え対象者の心をたどり対象者の自己空間を作る準備)～
10	2月26日(土)	治療的援助関係の展開～心的安全空間(恐怖・不安を表現しながら対象者の欲求・ニーズを探す)を作ること～
11	3月19日(土)	治療的援助関係の展開～セラグノーシス(アセスメントと介入をくり返しながら対象者の自律性/自立性を高めること)～

* オンラインでの参加が可能です。

Cコース 13:00～15:15 (135分)

ケア困難患者へのケース・フォーミュレーションと PAS-SCT 介入技法

目標：ケア困難患者（身体疾患でうつや不安、再燃・再発・再入院の繰り返し、重複疾患、行動化・自傷行為の繰り返し、長期入院予備軍等）への PAS-SCT におけるケース・フォーミュレーション、PAS セルフケアセラピー（PAS-SCT）介入を理解・実施でき、患者の早期回復を促進できる。

* ケース・フォーミュレーションとは、最新セルフケアプログラムの組み立てを行う中心部分であり、総合アセスメントをもとに、①問題の記述、②何が問題を引き起こしているのか因果関係、③介入による問題の改善をさす。ケース・フォーミュレーションをもとに、セルフケア上の目標・ケアプランを展開する。

* PAS-SCT は最新セルフケアプログラムを展開した後に、さらに地域生活上課題となるセルフケアに焦点をあて実施する。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	4月17日（土）	セルフケアプログラム・PAS-SCT 介入起点となるケース・フォーミュレーションの理解と実施
2	5月15日（土）	治療の意思決定ができない患者のケース・フォーミュレーション と PAS-SCT
3	6月19日（土）	病気の受容が困難な患者のケース・フォーミュレーションと PAS-SCT
4	7月17日（土）	意欲低下で動けない患者のケース・フォーミュレーションと PAS-SCT
5	9月11日（土）	身体化の多い患者のケース・フォーミュレーションと PAS-SCT
6	10月16日（土）	行動化・自傷行為が頻繁な患者のケース・フォーミュレーションと PAS-SCT
7	11月20日（土）	周囲の意見を気にする患者のケース・フォーミュレーションと PAS-SCT
8	12月18日（土）	医療への不信感の強い患者のケース・フォーミュレーションと PAS-SCT
9	2022年 1月22日（土）	終末期にある患者のケース・フォーミュレーションと PAS-SCT
10	2月26日（土）	家族が終末期にある患者家族のケース・フォーミュレーションと PAS-SCT
11	3月19日（土）	まとめ

*オンラインでの参加が可能です。

Dコース 15:30～17:45（135分）

患者の特徴に応じた介入型事例報告・事例研究のまとめ方

目標：慢性疾患（悪性腫瘍、心疾患、脳血管疾患、糖尿病など）患者への最新セルフケアプログラムならびにケア困難患者へのPASセルフケアセラピー（PAS-SCT）介入において、実践を研究としてまとめていく介入型事例報告、事例研究方法を学び、自分の事例・実践をまとめることができるようになる。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	4月17日（土）	介入型事例報告・事例研究のまとめ方～介入しながら事例報告、事例研究をまとめるには～
2	5月15日（土）	「疾患」「治療」による喪失の強い患者に対する介入型事例報告・事例研究
3	6月19日（土）	病気・治療に関するストレスの強い患者に対する介入型事例報告・事例研究
4	7月17日（土）	治療拒否の強い患者に対する介入型事例報告・事例研究
5	9月11日（土）	PTSD(心的外傷後ストレス障害)患者に対する介入型事例報告・事例研究
6	10月16日（土）	自閉症性障害患者に対する介入型事例報告・事例研究
7	11月20日（土）	発達障害患者に対する介入型事例報告・事例研究
8	12月18日（土）	人格障害患者に対する介入型事例報告・事例研究
9	2022年 1月22日（土）	強迫症状・強迫性障害患者に対する介入型事例報告・事例研究
10	2月26日（土）	せん妄・認知症患者に対する介入型事例報告・事例研究
11	3月19日（土）	自分の事例に対する介入型事例報告・事例研究

* オンラインでの参加が可能です。

2. プライマリケア能力強化編

Eコース 13:00～14:30、14:45～16:15(180分)

慢性疾患患者へのフィジカルアセスメント

目標：訪問看護師または高齢者介護保健施設の看護師対象に、フィジカルアセスメント研修会を開き、看護師の身体診察能力の鍛錬に役立てる。またこれに参加した看護師に、大学院への関心を持ってもらう。

場所：四天王寺大学看護棟（9号館）2階 シミュレーションルーム

回数	日程	内容
1	8月22日(日)	呼吸器系のフィジカルアセスメント
2	8月29日(日)	循環器系のフィジカルアセスメント
3	9月5日(日)	神経系のフィジカルアセスメント
4	9月12日(日)	消化器系、泌尿器系のフィジカルアセスメント
5	9月19日(日)	骨・筋肉系のフィジカルアセスメント

3. 教育能力強化編

教育プログラム

看護職の現任教育・指導のための基本理念

目標：現任教育に必要な基本的理論とスキルの取得をめざす。

場所：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

回数	日程	内容
1	10月24日(日) 14:00～17:00	教育理論(成人学習理論)
2	11月14日(日) 10:00～13:00	行動変容理論
3	11月14日(日) 14:00～17:00	教育指導スキル：コーチング技法

*オンラインでの参加が可能です。

IV センター・外部連携～研究プログラム～

目標：コロナ禍において患者をケアする看護職のストレスを減らし、うつ/PTSD（心的外傷後ストレス障害）を予防し看護職の離職を防ぐため、看護職の個人・組織に対するリスク・コミュニケーションとセルフケア能力強化プログラムを実施します。

回数	日程	内容
1	5月29日（土）	●10時～12時：コロナ禍における精神状態への影響と対応方法 1) サイコロジカル・ファースト・エイド (Psychological First Aid, PFA) 2) コロナ禍で必要とされるリスク・コミュニケーション 3) 欲動展開に基づくセルフケアと NEW LIFE DESIGN
2	7月31日（土）	
3	10月2日（土）	
4	12月4日（土）	●13時～16時：力動的集団精神療法（自分の欲動をみつめ、欲求を探して意図的なセルフケアを展開し、自分自身の理解を深めて生活・仕事の再構築、NEW LIFE DESIGN を描くことができるようになります）
5	2022年 2月6日（日）	※1回のみでの参加ではなく継続して参加することが可能です。継続して参加することにより自分の理解、セルフケア、new life design を確固たるものにしていくことができます。

***このプログラムにつきましては、詳細が決まり次第、ご案内いたします。**

問い合わせ先：宇佐美しおり susami@shitennoji.ac.jp

V お知らせ

四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センターでは、「実践をさらに豊かにする看護研究」事業を展開しています。実践研究の方法、研究の種類、具体的な展開方法など詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします。



TEL:072-956-3345(エクステンションセンター直通)
受付 9:00~17:30 (日・祝を除く)

住所:大阪府羽曳野市学園前 3-2-1

和のこころを未来へ

